

令和4年度看護学科

特別選抜（学校推薦型選抜）

# 小論文②

## 注意事項

- 1 問題冊子は、係員の指示があるまで開かないでください。
- 2 受験番号・氏名を解答用紙（2枚以上ある場合は、全ての解答用紙）に記入してください。
- 3 解答は、問題ごとに、解答用紙の所定の欄に記入してください。

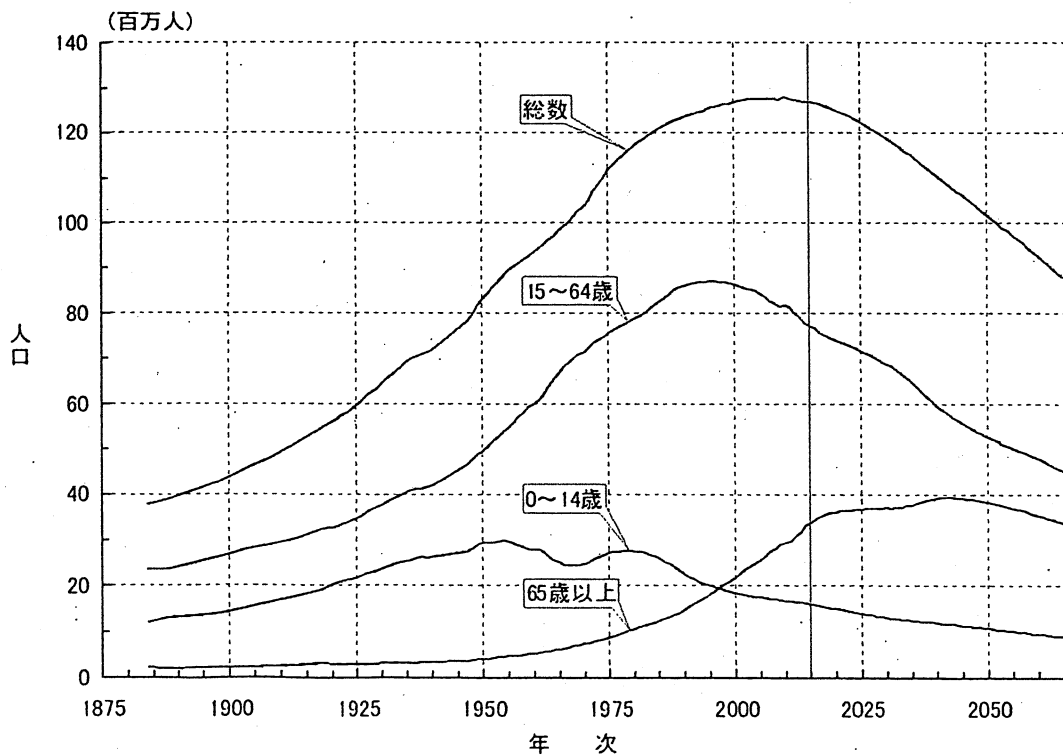
問 次の文章と年齢区分別人口の変化の図から、人口減少が今後あなたの暮らしに及ぼすと考えられることを600字以内で述べなさい。

総務省が25日に発表した2020年国勢調査の速報値では、東京圏（東京、埼玉、千葉、神奈川）の人口は3693万8977人で、前回より80万8292人増えた。総人口の約3割（29.3%）を占め、東京一極集中が続く現状が浮き彫りになった。都道府県別で最も人口が増えたのは東京都（約55万人増）で、神奈川県（約11万人増）、埼玉県（約8万人増）と続いた。福岡県は約4万人増だった。大阪府は約3000人増で、前回調査では戦後初の減少を記録したが、微増に転じた。人口が増えたのは、計9都府県だった。

一方、最も人口が減少したのは北海道（約15万人減）で、新潟県（約10万人減）、福島県（約8万人減）が続いた。計38都府県で人口減を記録し、このうち33都府県で減少幅が拡大した。

市町村別では、全体の82.4%に当たる1416市町村で人口が減った。前回15年調査より5%以上人口が減った市町村は、全体の50.9%に上った。最も人口が減ったのは北九州市（約2万人減）だった。新潟市や長崎市などが続き、地方の中核都市の人口減が目立った。  
(2021年6月26日付読売新聞朝刊より抜粋)

年齢3区分別人口：1884～2065年



国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2021）」より引用